



「ちり紙」



「ちり紙(塵紙)」は、元々は和紙の材料である「楮(こうぞ)」の外皮を原料に、和紙を包装する際に保護する紙として作られたものです。その用途の多様さから「鼻紙」「包み紙」「落とし紙」とも呼ばれていました。

現在は、ティッシュペーパーやトイレットペーパー等がその役目を担っていますが、日本では数十年前まで「ちり紙」がその役目を担っていました。「ちり紙」はかなり分厚くごわごわした感じの紙です。近年、生産している工場も限られてきており、年間生産量は100万tを優に超えるトイレットペーパーに対して「ちり

紙」はわずかに数千t、時代の流れとともに、その役目を終えつつあるようです。

身近ではなくなりつつある商品ですが、実は小売店では取り扱いをやめると、頻繁にお客様から問い合わせが寄せられる商品だそうです。以前のような使い方ではないものの、分厚い紙であるという特徴を活かし、ペットシーツや介護などに使っている方もいるようです。また、何枚か重ねて手軽に雑巾代わりに使われるなど、その用途は変化し話題に上ることもありませんが、いまだに根強い人気があるようです。



お通じのこと



緊急事態宣言が解除され、様々な「GoTo〇〇」が始まったものの、遠出や外出することにまだ躊躇されている方が多いようです。その影響や運動不足からかまちのドラッグストアでは、便秘薬の売れ行きが好調だそうです。

腸で分解された栄養は小腸で吸収され、最後に大腸で水分が吸収されます。残りがお通じとして体外に排出されるのですが、その比重は1より大きいので、

健康な方のお通じは水に沈みます。ところがどこかに異常があると、未消化物が大腸に送られ、そこにいる悪玉菌によって分解され、分解反応で発生した細かいガスが混ざるので、軽石と同じ原理で水に浮いてしまいます。水槽が深い洋式トイレでは便の浮き沈みが観察できます。色や臭いとともに、ぜひ比重もチェックしてみましょう。(MM9)



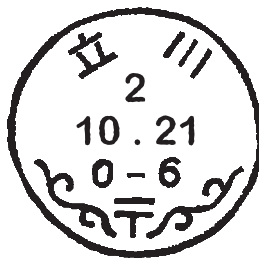
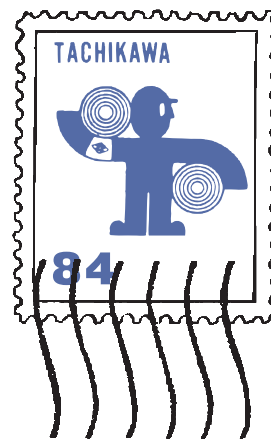
富士山に川がないのはなぜ？

富士山には年間20億立方メートルの降水量があるそうです。これは東京都民の水道使用量のなんと1.5倍にもなる膨大な数字です。しかし、雪をたたえる山腹を思い浮かべてみても川は見当たりません。

現在の富士山は、今から2~3万年前に出現した古富士の上にできたものだそうです。今から7~8千年前の大噴火により溶岩が流れ出し、その上に火山灰や火山礫などの噴出物が堆積、さらにまた溶岩流が覆い、火山灰が堆積してという具合に溶岩層、火山噴出物層が次々に重なり合いながらどんどん成

長し、今私たちが目にしている姿になったそうです。

こうした火山性の土は粗いため、山腹に降った雨はすべて山体の中にしみ込んでしまいます。そして地表の下にある水を通す層の中を、地下水として約3千メートルもの距離を流れ続け、地上に姿を現している場所のひとつが白糸の滝です。滝口のある海拔5百メートル付近がちょうど古富士層と新富士層の境にあたるようで、古富士層には水がしみ込みにくいので、断層部分で地下水が川となって現れるのだそうです。



キンマリ SW
46判 70kg
を使用しています。



471

2020.10.21

発行/株式会社 立川紙業 〒190-0023 立川市柴崎町2-7-6 / TEL: 042-527-6111(代)
FAX: 042-528-0080 / HP: www.kami.jp / MAIL: tp@kami.jp



まだ我慢!!

山田 純也

新型コロナウイルスが広まって半年以上が過ぎました。皆様の生活にもいろいろと変化が起きていることでしょう。私は外で食事をしたりお酒を飲んだりする機会が極端に減り、家にいる時間が増えました。

我が家には高校3年生になる娘がおり、陸上部に所属しています。連日遅くまで練習を続け、2年生の時には都大会に出場できるまでに成長しました。3年生になり、これからさらに上を目指そうとしていた矢先、今回の新型コロナウイルス禍に巻き込まれてしまいました。練習どころか学校にすら行けない状況が続きました。代替試合などを行っている競技もありましたが、残念なことに娘は最後の大会もないまま引退を決断しました。また今年は体育祭・文化祭・修学旅行の中止も決定しているそうです。

この先は『WITHコロナ』『新しい生活スタイルを』とのことで、人との接触を避けるためにオンラインの会議や学校の授業などが行われているようですが、賛否両論あるようです。娘のオンライン授業を横で見

いたことがあります。ほぼ先生からの一方通行の話になってしまい、内容も分かりづらく、最後まで集中しているように見えませんでした。娘に感想を聞いてもやはり良い返事は戻ってきませんでした。緊急事態宣言解除後、少し前から短縮授業ではあるものの、登校が再開されてひと安心していきます。しかし小学校3年生の下の娘はミニバスケットボールクラブに入っていますが、まだ練習試合すらできていません。先輩の6年生達は大会がひとつも行えないまま卒業になる可能性もあり、目標を見失ってしまわないか心配でなりません。

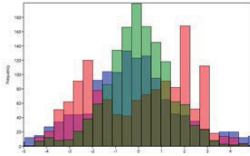
私たち大人には“また来年”がありますが、子ども達には今年しかない行事があり、“また来年”とはいかないことも多いでしょう。やはり、子ども達には以前と同じように学校や部活、友達付き合いができるように、大人がウイルスを拡げないようまだまだ我慢しながら行動すべきではないでしょうか。

(弊社営業3課長)

業界の動き

8月の紙・板紙速報
段原紙の輸出過去最高を更新
国内出荷 13.9%減、輸出 22.3%増

日本製紙連合会が集計した「紙・板紙需給速報」によると、2020年8月の紙・板紙国内出荷は160.8万t(前年同月比13.9%減)で、13ヶ月連続で減少した。



◎グラフィック用紙21%減

品種用途別では、グラフィック用紙が58.4万t(同21.0%減)で、45ヶ月連続の減少、大幅だが新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言解除後、マイナス幅は縮小傾向にある。

◎パッケージ用紙

パッケージ用紙は、88.5万t(同9.5%減)で、11ヶ月連続で減少した。そのうち板紙は80.3万t(同7.9%減)で、11ヶ月連続で減少した。

◎新聞用紙

主要品種のうち新聞用紙は16.7万t(同15.0%減)。部数・購読数減に一向に歯止めがかからず、34ヶ月連続で減少した。

◎印刷・情報用紙

印刷・情報用紙は41.7万t(同23.2%減)で、13ヶ月連続で減少した。非塗工紙、塗工紙、情報用紙のいずれも減少となった。

◎包装用紙

包装用紙は4.3万t(同20.9%減)で、17ヶ月連続の減少。未晒・晒ともに減少した。

◎衛生用紙

衛生用紙は13.9万t(同7.0%減)で4ヶ月連続減少した。タオル用紙は増加したが、トイレットペーパー・ティッシュペーパーが減少した。

◎容器・パッケージ・高板用紙等

段ボール原紙は66.2万t(同5.6%減)で、11ヶ月連続で減少した。白板紙は9.1万t(同17.0%減)で、13ヶ月連続の減少。高板・特板・コート白のいずれも減少した。



このように主要品種の国内出荷量は全て減少、しかしその一方で、輸出は13.8万t(同22.3%増)で、8ヶ月連続で増加を続けている。 <参照：9/28付紙の新聞>

今月の使用紙 キンマリSW

今月の TP 通信は北越コーポレーション(株)の「キンマリSW」を使用しています。

明るい白色感、抜群の印刷作業性、保存性に優れた中性抄紙で、数多くのお客様からご好評をいただいている北越コーポレーション(株)上質紙の代表ブランドです。

このほか、北越コーポレーション(株)の上質紙のラインナップには、「キンマリV」「紀州上質紙N」もございます。

■規格	寸法	A/T.Y	キ/T.Y	B/T.Y	46/T.Y
	g/m ²	連量 (kg)			
	52.3	28.5	31	43.5	45
	64.0	35	38	53	55
	81.4	44.5	48.5	67.5	70
	104.7	57.5	62.5	—	90
	127.9	70.5	76.5	—	110
	157.0	86.5	93.5	—	135

RECOMMENDED BOOK

「今月のお手元本」内藤和さんとの思い出 その4

(TP 通信編集室)

本紙「今月のお手元本」に連載をお願いしていた故内藤和様を偲び、その足跡を振り返る連載の第4回目をお届けいたします。故内藤和様が4年にわたりこのTP通信に遺してくださった数々の「今月のお手元本」、今月もその中からTP通信編集室がピックアップした、特に印象深かった一冊を改めてご紹介いたします。



2016年11月発行の424号、連載第12回目は宮木あや子著「校閲ガールトルネード」(角川書店)でした。この連載が始まったいきさつについては、その1でもご紹介しましたが、近年立川紙業や当社を取り巻く業界に大きな影を落とす“紙や書籍・活字離れ”、これを何とか食い止める一助になれば！この連載を通して書店に立ち寄り、店頭で本を手にしてくださる方が一人でも増えれば！そんな連載の狙いに、出版や編集の仕事、そして人にスポットが当たるストーリーの一冊をご紹介いただき、原稿を頂戴した際に思わず顔がほころんだことを覚えています。

しかしそもそも「校閲」という言葉、我々は理解しているつもりでいても説明となると、しどろもどろになってしまうかもしれません。内藤さんも冒頭で同じような点に触れていらっしゃいました。

「そもそも校閲とは何ぞ？から始まった私。『校閲とは文書や原稿などの誤りや不備な点を調べ、検討し訂正したり校正すること』だった。」(424号より)

文中に出てくる「校閲」そして「校正」、この2つはどちらも文章などをチェックすることなのですが、実はその対象に違いがあります。「校閲」は⇒“内容そのもの正誤や適否”、かたや「校正」は⇒“印刷物の誤植や体裁・誤字や脱字”がそれぞれ対象となることです。このほかにも内藤さんご指摘の

「そしてこの本、所々に本が出版されるまでの作業、専門用語の説明、マニアックな文房具の紹介等が『悦子の研修メモ』として書いてあるのも、いちいちほほうと面白い。愛して止まない本たちがこんな作業を通過して手元に届いているのかと思うと、本作りに関わっている全ての人たちに、『ありがとうございます。』と言いたくなる。」(424号より)

まったくもって内藤さんのおっしゃる通りです。

実はこのお話、テレビドラマにもなって放映されました。ご覧になった記憶がおありの方もいらっしゃることでしょう。2016年10月から12月には『地味にスゴイ！校閲ガール・河野悦子』のタイトルで、さらに翌年9月には『地味にスゴイ！DX校閲ガール・河野悦子』のタイトルのスペシャルドラマで共に注目を集めました。主人公の河野悦子役は石原さとみさんでした。



何号かにわたりお届けした<<連載「今月のお手元本」内藤和さんとの思い出>>は、今号までとさせていただきますが、この連載の原稿を書くにあたってこれまでのすべての「今月のお手元本」の紹介文を改めて読み返させていただきました。内藤さん曰く「愛して止まない本たち」その一冊一冊にとっても素敵なストーリーやメッセージが込められていたんだなあと、また内藤さんがこれほどまでに本に愛情を注がれていたのか！?ということに驚かされました。

長きにわたり貴重な連載文をお届けくださった内藤和様に、改めて厚くお礼を申し上げたいと思います。そして今一度謹んで内藤和様のご冥福をお祈りしたいと思います。これから先も空のかなたで、「愛して止まない本たち」の読書三昧をどうぞお続けください。さようなら。